記者発表資料

平成２８年　７月　１日
東北地方整備局
酒田河川国道事務所

国道４７号　余目酒田道路の開通６ヶ月後の交通状況、整備効果について

国土交通省が事業を進めてきました、地域高規格道路　新庄酒田道路の一部を構成する、国道４７号「余目酒田道路」（H27.11.14開通）の開通６ヶ月後の交通状況、整備効果をとりまとめましたのでお知らせします。

【交通状況】

◆余目酒田道路の交通量は増加傾向で推移

	交通量		
	開通前 (H27.10.20)	開通1ヶ月後 (H27.12.17)	開通６ヶ月後 (H28.6.7)
余目酒田道路	―	6,600台/日	7,800台/日
国道４７号	11,700台/日	8,000台/日	7.400台/日

【整備効果】

◆余目酒田道路への経路変更が行われています
～秋田方面へ向かう交通量が約５割減少～

◆東大町交差点の渋滞が緩和
～余目酒田道路の開通により車線数が増えたため渋滞が緩和～

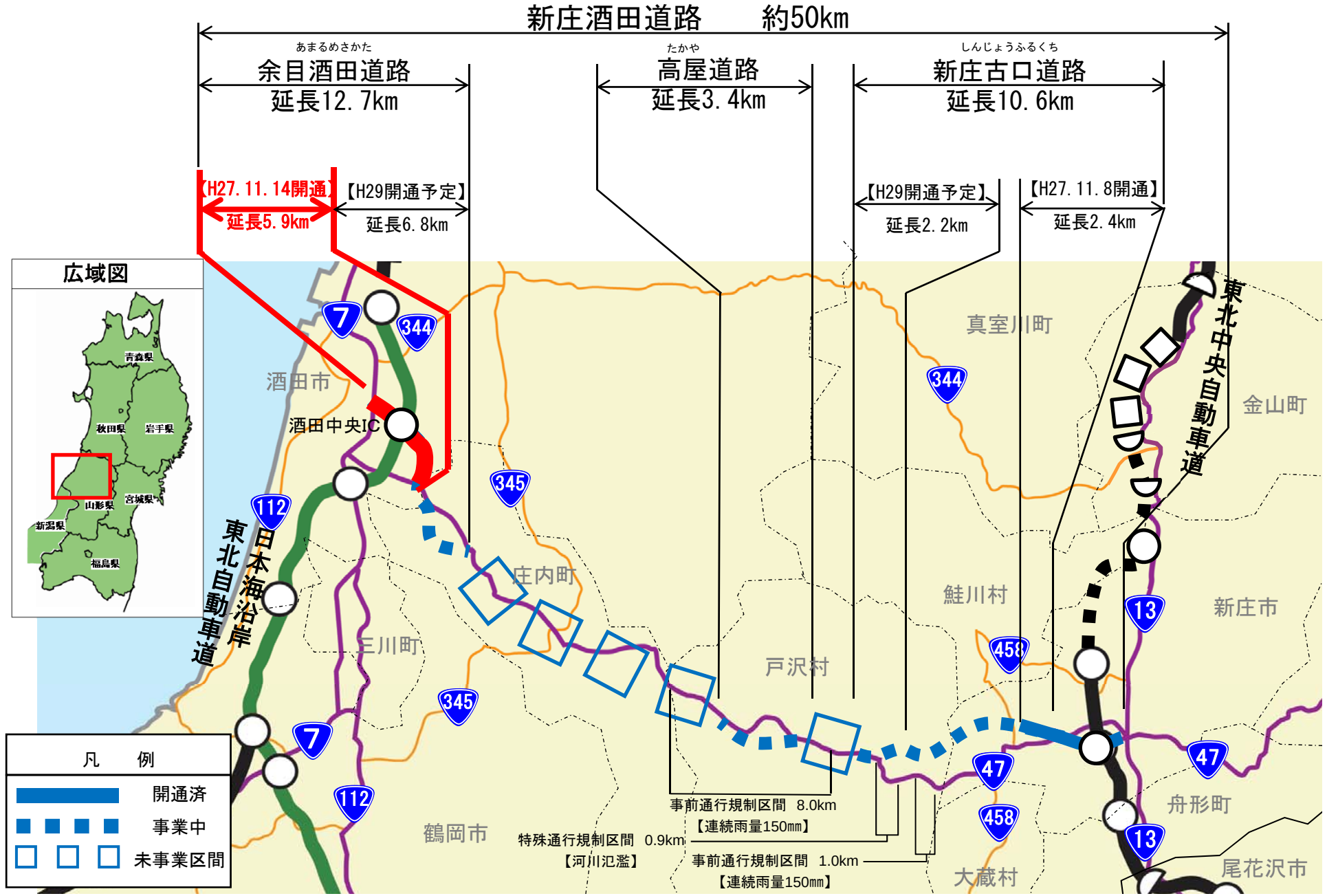
◆生活道路（通学路）の安全性が向上
～東大町交差点の渋滞緩和により生活道路への通過交通流入が２割減少～

発表記者会：酒田記者クラブ、鶴岡記者会

問　い　合　わ　せ　先

国土交通省　東北地方整備局　酒田河川国道事務所
TEL　0234－27－3331
副所長（道路）　藤原（ふじわら）　久（ひさし）
調査第二課長　斎藤（さいとう）　信（まこと）

国道４７号　新庄酒田道路



【開通6ヶ月後】新庄酒田道路

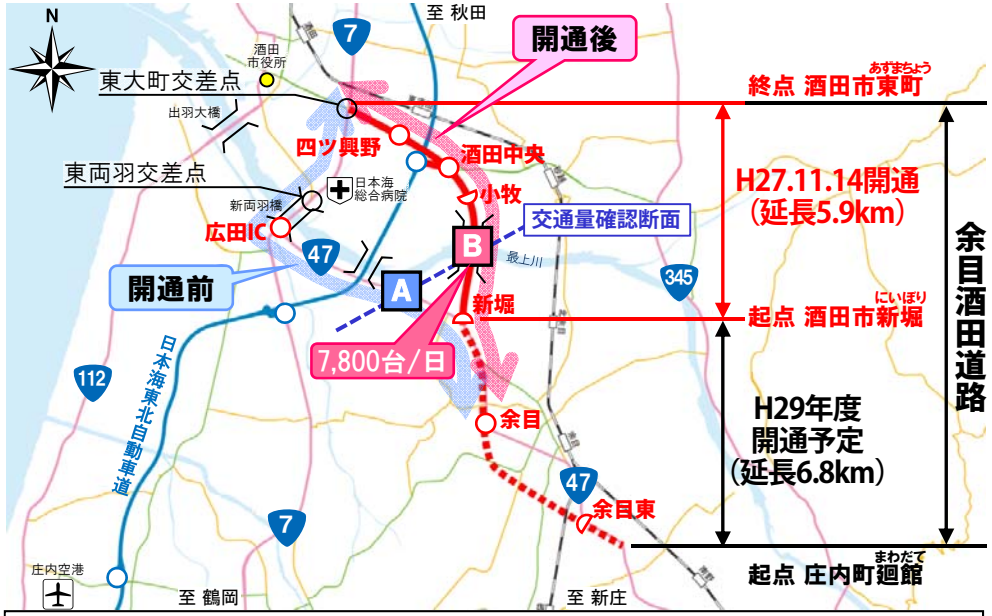
国道47号 余目酒田道路（酒田市新堀（にいぼり）～東町（あずまちょう））が開通して

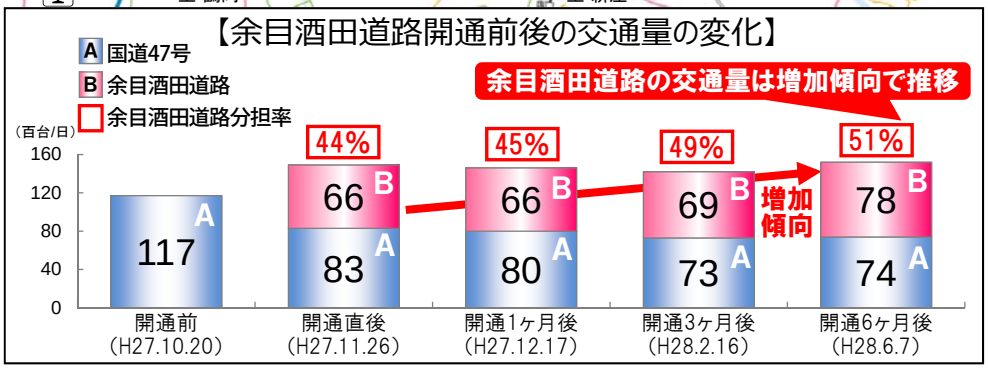
（平成27年11月14日開通）

①余目酒田道路の交通量は増加傾向で推移
②余目酒田道路への経路変更が行われています
③東大町交差点の渋滞が緩和
④生活道路（通学路）の安全性が向上

①余目酒田道路の交通量は増加傾向で推移

- 余目酒田道路は、開通後、増加傾向で推移
- 分担率も増加傾向であり、余目酒田道路利用が定着してきている



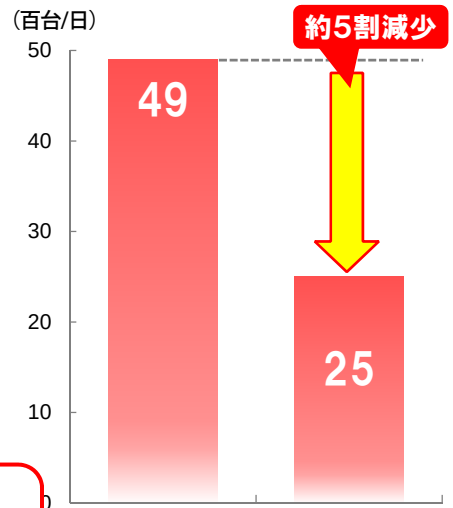


②余目酒田道路への経路変更が行われています

- 国道47号から広田IC経由で国道7号（秋田方面）へ向かう交通が約5割減少し、余目酒田道路への経路変更が行われています

【国道47号（余目方面）から広田IC経由で国道7号(秋田方面)へ向かう交通の変化】





国道47号（余目方面）から広田IC経由で国道7号（秋田方面）へ向かう交通が約5割減少

酒田市内への通勤者の声

（H28小学校・高校ヒアリング調査結果）

✓以前は余目から国道４７号を利用して酒田市内へ向かう車が多く、広田ICの合流部分で渋滞が発生していた。

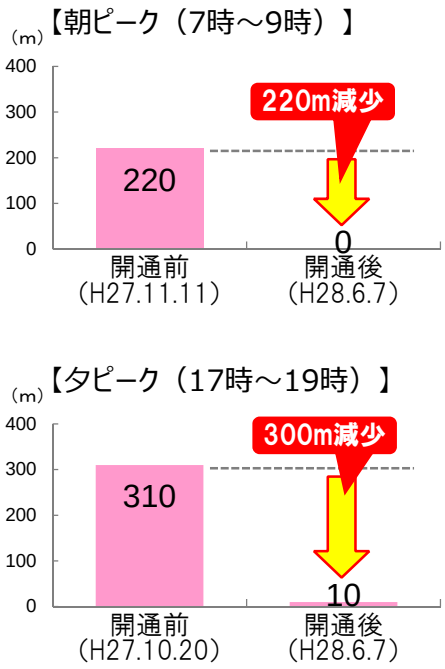
✓余目酒田道路開通後は、余目酒田道路経由に交通が転換したことにより広田ICの合流部分の渋滞が緩和し、通勤時間が読めるようになった。

③東大町交差点の渋滞が緩和

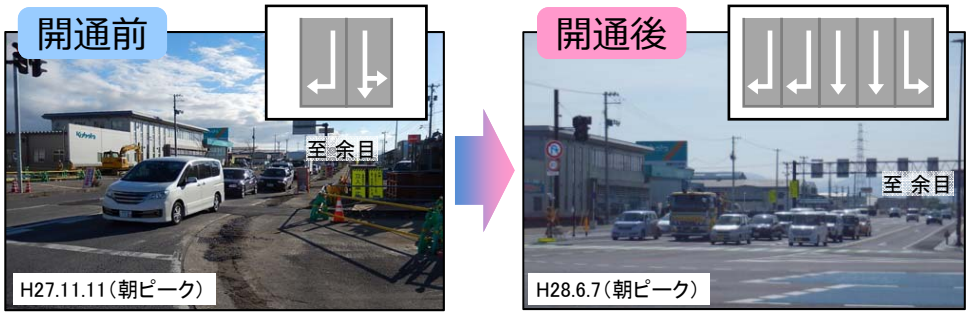
- 東大町交差点の東側流入方向（余目酒田道路終点部）については余目酒田道路の開通により車線数が増えたため（2車線⇒4車線）、開通前220m～310mあった渋滞が緩和

【東大町交差点（東側流入方向）渋滞長の変化】





【東大町交差点（東側流入方向）の渋滞状況】

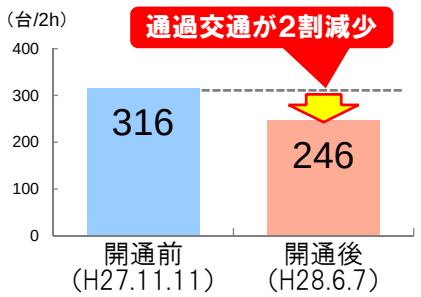


④生活道路（通学路）の安全性が向上

- 東大町交差点の渋滞が緩和したことにより、生活道路（（市）亀ヶ崎大町線）への通過交通流入が2割減少し、通学路の安全性が向上



【加藤歯科医院付近交差点の朝ピーク通過交通(東⇒西)の変化】



※朝ピーク：7:00～9:00（2h）
※通過交通：直進車両のみ

【直進車両と横断待ちの状況】



通過交通が減少することで横断時の安全性が向上